

国際ロータリー第2660地区
ガバナー

大谷 透



2009年1月サンディエゴに於ける国際協議会で、ケニーRI会長より「ロータリーの未来はあなたの手の中に」というテーマが与えられ、地区のリーダーとして自信を持つようにと励ましをうけ、努力した1年でした。ロータリアンは斯くあるべしと一番教えられたのは私自身であったと思っています。

各RCへの公式訪問で例会に先立つ会長・幹事・役員の方々との懇談を通じ、ガバナー補佐会議に於ける各AGの熱意や見識を通じ、地区代表幹事をはじめ地区幹事の方々や、地区の各委員会の委員長をはじめ夫々の委員の協力的な責任ある行動を通じ、地区研修委員会に於ける話し合いや作業を通じ、地区大会実行委員会の頼もしい実践力を通じ、各組IM実行委員会の素晴らしい成果を通じ、地区諮問委員会におけるPGの方々の誠意ある御指導を通じ、そしてG事務局員の心のこもった協力を通じて、「ロータリーを身につける」ことを学ばせて頂きました。この1年間を振り返り、私に接して頂いた全ての方々を思い起こして感謝しています。又、同期の他地区のDGやPGの方々との交流や、他地区の地区大会への出席によっても、学んだ事が多くありました。これらの事を一つひとつ書き上げると、いくら紙面があっても足りません。

2009-2010年度の任期を終えるにあたり、もう一度ここで繰り返しておきたい事は、地区大会にRI会長代理として来られたビチャイ・ラタクル

元RI会長が会員増強に関して強調された言葉です。「会員数の減少を憂い、数に拘って増強が叫ばれますが、今こそ会員の質に焦点を当てるべき時です。そのために先ず我々が ideal of service を実行できる本当のロータリアンになら（ロータリーを身につけ）なければなりません。そして、職業分類の欠けている職種で、その地域のトップクラスの方に声をかけ、その方の価値観がロータリーの core value と一致する事を確かめた上で、入会を勧めるべきです」「限りなき道ロータリー」とはよく言ったものです。私のガバナーとして走るべき区間は終わりましたが、ロータリーを身につけなくてもよくなったわけでは決してありません。若くして、壮にして、老いて、ロータリーを学び、ロータリーのために 今あなたが出来る事を行動に移そうとする「あなたの手の中に、ロータリーの未来はあるのです」。

